

★ちば県議会だより

党派等別議員数

党派等名	略称	議員数
自由民主党千葉県議会議員会	自民党	51人
立憲民主・千葉民主の会	立千民	14人
公明党千葉県議会議員団	公明党	8人
千翔会	千翔会	4人
日本共産党千葉県議会議員団	共産党	2人
平和の党	平和党	1人
千葉県民の声	県民声	1人
市民ネットワーク	市民ネ	1人
リベラル民主	リベ民	1人
無所属議員	無所属	5人

定数94人 現員88人 (令和4年3月20日現在)

県議会は、年に4回(2月、6月、9月、12月)定例会を開きます。ちば県議会だよりは、各定例会の審議の概要等をお知らせしています。

発行 千葉県議会 編集 千葉県議会事務局政務調査課 千葉市中央区市場町1-5 (〒260-0855) 電話 043(223)2523 FAX 043(222)4073 千葉県議会 検索



2月定例会県議会のあらまし

2月定例会県議会は、2月16日に招集され、3月18日までの31日間にわたり開催されました。

開会日には、議長の諸般の報告に続き、令和4年度一般会計予算等の議案92件、報告1件が上程され、知事から提案理由説明と県政の当面する諸問題について報告がありました。

2月22日から6日間にわたり行われた代表質問および一般質問は、22名の議員が登場し、財政問題をはじめ、新型コロナウイルス感染症対応、防災対策、福祉、道路、教育問題等について活発な議論が展開されました。

2月28日の一般質問終了後、「ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する決議」が上程され、可決されました。

さらに、3月4日から3日間にわたり、予算委員会が開催され、令和4年度予算議案について活発な議論が展開されました。

各常任委員会は、3月9日から4日間にわたり開催され、付託された議案・請願について具体的・専門的な審査が行われました。閉会日には、各常任委員会委員長の審査結果報告、討論が行われ、採決の結果、全ての議案が原案のとおり可決されました。

その後、人事案件16件が追加上程され採決の結果、全て同意されました。

続いて、議員発議による意見書19件が上程されましたが、可決された意見書はなく、今定例会に付議された全ての案件の審議を終了しました。

代表質問

2月22日(火)



自民党 伊藤 昌弘 議員 (佐倉市・印旛郡酒々井町)

- 行財政運営
- 新型コロナウイルス感染症への対応
- 地域経済の活性化
- 県内の幹線道路ネットワーク
- スポーツ・文化振興
- 交通安全対策



立千民 磯部 裕和 議員 (野田市)

- 知事の政治姿勢
- 行財政改革計画
- 千葉経済圏の確立
- 新しいライフスタイル
- 仕事と介護の両立
- 障害特性の子供たち



公明党 阿部 俊昭 議員 (柏市)

- 知事の政治姿勢
- SDGsの推進
- 新型コロナウイルス感染症対策
- 柏の葉公園・民間活力導入
- ヤングケアラー
- 千葉県版レッドデータブック
- 教育問題 教職の魅力発信



千翔会 谷田川 充丈 議員 (香取市・香取郡神崎町・多古町)

- 知事の政治姿勢
- 新型コロナウイルス感染症対策
- 職員の働き方
- 防災対策
- 残土条例
- 動物愛護

質問項目は、主な項目を掲載しています。その他の項目は、千葉県議会ホームページに掲載しています。

千葉県議会 質問項目 2月 検索

可決・同意された議案

令和4年度予算関係(24件)

▽一般会計

▽特別会計(23件)

◆令和3年度補正予算関係(23件)

▽一般会計

▽特別会計(22件)

◆条例の制定(3件)

▽千葉県教育委員会の職務権限に属する事務の管理及び執行の特例に関する条例

▽北総中央土地改良施設管理条例

▽畜舎等の建築等及び利用の特例に関する法律に基づく技術基準に関する条例

◆条例の一部改正(15件)

▽職員の育児休業等に関する条例

▽千葉県職員定数条例

▽千葉県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例

▽千葉県恩給条例等

▽使用料及び手数料条例

▽千葉県個人情報保護条例

▽児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例

▽児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例

▽児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例

▽児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例

▽児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例

▽児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例

▽児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例

▽児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例

▽児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例

▽児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例

▽児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例

可決された決議

▽ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する決議

▽ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する決議

▽ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する決議

▽ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する決議

▽ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する決議

▽ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する決議

▽ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する決議

▽ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する決議

▽ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する決議

▽ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する決議

▽ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する決議

▽ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する決議

▽ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する決議

▽ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する決議

▽ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する決議

▽ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する決議

▽ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する決議

▽ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する決議

▽ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する決議

▽ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する決議

▽ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する決議

▽ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する決議

▽ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する決議

▽ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する決議

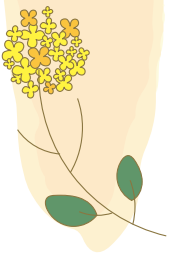
▽ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する決議

▽ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する決議

▽ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する決議

▽ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する決議

代表質問から



行財政運営

問 令和4年度当初予算案は、知事就任後初めての本格予算となるが、何に重点を置いて編成したのか。

答 今回、当初予算の編成に当たっては、まずは県民の命と暮らしを守ることに重点を置き、新型コロナウイルス感染症への対応の他、防災・減災対策や交通安全対策などについてと予算を確保することとした。

踏まえ、1月27日に病床確保のフェーズを一般医療との両立が可能段階として最大のフェーズ2Bに移行したところであり、2月20日現在、1694床、うち重症者用の病床として120床が即応病床として稼働している。

また、千葉県がんセンターの旧病棟における仁戸名臨時医療施設に加え、2月3日から、ちばぎん研修センターを活用した稲毛臨時医療施設、2月17日からは、キッコーマンアリーナを活用した流山臨時医療施設の稼働を開始した。

その上で、新たな総合計画案を踏まえ、

・県内経済の活性化や農林水産業の振興

・道路ネットワークなどの社会資本の整備促進

・医療・福祉や子育て・教育施策の充実

など、幅広い分野について、将来の千葉県の活性化に向けた未来への投資となる事業を計上した。

また、カーボンニュートラルやデジタル化など、新たな分野にも積極的に取り組んでいく。

これらの施策を着実に進めていくことで、県民一人一人が千葉県で暮らし、働くことの価値を実感してもらえよう、豊かな県民生活の実現を目指していく。

新型コロナウイルス感染症

問 現在の感染状況に対し、病床等の体制は適切に確保・運用できているのか。

答 県では、病床使用率の状況を

などへの支援を充実させる他、カーボンニュートラルに向けた投資について、信用保証料の助成などを行うこととしている。

こうした取り組みを着実に、きめ細やかに推進するため、令和4年度内を目標に、県の中小企業振興の基本方針である「ちば中小企業元気戦略」を見直すこととし、事業者や関係者と綿密に意見交換を行いながら、策定を進めていく。

スポーツ・文化振興

問 本県の地理的特徴や歴史を踏まえた文化振興を通じ、地域活性化にどのように取り組んでいくのか。

答 首都圏にありながら、海や里山などの豊かな自然が身近に多く存在する本県には、歴史の中で育まれた伝統芸能・郷土料理・町並み等の文化資源が各地に受け継がれる一方、自然を生かした野外でのアート展示や音楽イベント等の新たな文化芸術活動も行われている。

今後は、これら本県が有する、自然、歴史、伝統、芸術、スポーツ等、さまざまな分野における文化資源の魅力と、優れた都市機能を活用していく千葉ならではのブランド価値を創出し、広く次世代につなげていくことが、地域活性化を図る上で重要と考える。

特に、令和5年度には本県生誕150周年を迎えることから、それを契機に、千葉の多様な文化の魅力を発信し、県民の千葉への愛着や誇りを一層高めるとともに、県外の人をも引きつけられるよう、市町村等とも連携した効果的な取り組みを検討し、実施していく。

交通安全対策

問 交通事故を減少させるために、

県警としてどのように交通事故防止対策に取り組んでいくのか。

答 県警では、昨年の交通情勢や交通事故の分析結果を踏まえ、本年の交通事故防止対策として、第一に「千葉県警察交通安全緊急対策アクションプラン」の推進を掲げ、これに昨年と同様に「歩行者保護」「ゼブラ・ストップ」の徹底「および」「高齢者安全対策の強化」を加えた3つを柱に据えて、各種対策を推進している。

特に、八街市での児童5人が死亡する交通事故の発生を受け策定した「千葉県警察交通安全緊急対策アクションプラン」では、「通学路等における交通安全の確保」と「飲酒運転の根絶」を対策の柱とし、通学路等における道路交通環境の整備や可搬式オービスを用いた速度違反の取り締まり等による交通規範の周知徹底の他、飲酒運転根絶に向けた広報啓発活動や交通安全教育、指導取り締まり等を強化している。

引き続き、「交通安全県民」の実現を目指して、関係機関・団体と連携しながら、交通事故防止対策に全力を挙げていく。

問 「千葉県飲酒運転の根絶を実現するための条例」の施行を踏まえ、県は、どのように取り組みを強化していくのか。

答 本年1月に施行された本条例には、飲酒運転根絶に向けた県民等の役割が定められており、飲酒運転の禁止はもとより、県民等が飲酒運転を発見した際に警察に通報することや、事業者が業務で自動車を使う際にアルコールチェックや従業員教育を行うこと等が求められている。

そのため県では、ホームページや県民だよりへの掲載、市町村や千葉県交通安全対策推進委員会等を

通じた住民・企業・団体への広報等を行っており、今後も、新たに酒類販売店等へ協力を要請する等、さまざまな方法を活用しながら周知徹底を図っていく。

また、県、市町村、関係団体等の連携を強化するため、1月25日に条例に基づく「千葉県飲酒運転根絶連絡協議会」を設置したところであり、それらを通じ、県民総ぐるみで「飲酒運転をしない、させない、許さない」意識の醸成や環境づくりを進めていく。

新しいライフスタイル

問 二地域居住やワーケーションなどの多様なライフスタイルの実現を、どのように推進していくのか。

答 本県では、東京への近接性や豊かな自然環境など、多様なライフスタイルを実現できるポテンシャルを生かし、これまで二地域居住を含む移住・定住やワーケーションの促進などに取り組んできた。

令和4年度は、移住・定住の一層の促進を図るため、移住検討者が、都内からの移動時間や現地の暮らしぶりを具体的にイメージできるように、インフルエンサーを活用して二地域居住の様子などをSNSで随時発信する他、ふるさと回帰支援センターに本県専属の相談員を設置し、移住相談体制の充実を図る。

また、ワーケーションについても、受け入れ環境を整備する地域の取り組みへの支援を拡充するとともに、首都圏企業とのマッチングを行うことにより、取り組み地域の拡大に努めていく。

今後とも、本県において、多くの人が、自身の望むライフスタイルを実現できるよう取り組んでいく。

医療的ケア児への支援

問 医療的ケアを必要とする児童・生徒への支援の充実やICTの利活用について、それぞれどのように取り組んでいくのか。

答 県教育委員会では、医療的ケア児への支援充実に向けて、令和4年度当初予算案に、医師や看護師などの専門家で構成する医療的ケア課題検討会議の設置に係る経費を計上している。この会議では、登下校時の保護者の負担軽減や安全・安心な通学支援の在り方、医療的ケア児を受け入れることとなる小・中・高等学校に対する、より専門的な支援体制等について検討していく。

また、ICTの利活用については、特別支援学校では、障害の状態に応じて、目の動きにより端末を操作できる装置や、音声や文字に変換するソフトなどを用いて、学習への理解を深める。

合わせて、全ての学校で、病氣療養などにより登校が難しい児童・生徒に対しオンラインによる遠隔授業を行うなど、ICTを効果的に活用し、障害のある子どもへの学びを支えていく。

問 ヤングケアラーの支援体制について、県としてどのように取り組むのか。

答 ヤングケアラーは、家庭内のデリケートな問題であること、本人や家族に自覚がないといった理由から、表面化しにくい構造となっており、支援を行うに当たっては、アウトリーチにより早期に発見することが重要である。

そのため県では、福祉、介護、

防災対策

問 災害時におけるさまざまな事業者等との協定についての現状はどうか。

答 協定の実効性確保に向けた取り組みはどうか。

問 県では、災害時の応急・復旧対策を円滑に実施するため、電力供給や物流、通信をはじめとする民間事業者等との間で、令和4年1月末現在、283件の協定を締結している。

災害時に、これらの協定に基づく活動が迅速に実施されることが重要であることから、これまで県の災害対策本部訓練等において、事業者からリエゾンを受け入れるとともに、電源車の派遣の調整や、物資輸送の訓練を実施するなど、連携強化に努めてきた。

また、令和4年度は新たに電力事業者等と連携して迅速な道路啓開・停電復旧を図るための実動訓練も実施することとしており、今後とも、訓練や協議を積み重ねることにより、協定の実効性確保に努めていく。

各常任委員会の
主な質疑から

総務防災常任委員会

問 令和4年度、新たに予定している電柱・電線が絡んだ道路啓開訓練の内容とその効果はどうか。

答 この訓練は、倒木が電線を巻き込んだ場合などの現場を再現し、電力事業者等が連携して倒木の撤去や停電の復旧業務を実際に行い、習熟度を高めることで災害時に円滑に作業ができるようにしていく。

総合企画企業常任委員会

問 総合企画の数値目標はどのような考えで設定したのか。

また、目標の達成に向けて、どのように取り組んでいくのか。

答 県民と目標を共有しやすいように、社会環境の変化等を踏まえ、身近で分かりやすいものとするとともに、可能な限り具体的な数値を設定したところであり、前回よりも14指標多い76指標とし、うち47指標を新たな指標とした。

目標の達成に向けては、毎年度施策等の取り組み状況について政策評価をしっかりと行い、必要な改善を翌年度の施策展開に反映していく。

健康福祉常任委員会

問 新型コロナウイルス感染症に係るワクチンの追加接種や小児接種を進めていくに当たり、どのように取り組んでいくのか。

答 ワクチン接種を促進するため、診療所等の医療機関が実施する

個別接種に対して交付する支援金を計上するとともに、小児への接種も始まったことから、安心してワクチン接種を受けられるよう、副反応等に係る相談に看護師等が24時間対応するコールセンターを運営するために必要な経費等を計上した。

環境生活警察常任委員会

問 鳥獣の保護管理に係る次期計画である「第13次千葉県鳥獣保護管理事業計画」の主な改正内容はどのようなものか。

答 本計画は、鳥獣保護管理法に基づき、令和4年度から5年間の計画として策定作業を進めており、主な改正内容は、
・豚熱等の感染症対策として、イノシシの捕獲強化や、防疫措置の徹底を周知するなどの対策強化
・鳥獣保護区について、市町村からの要望により、特定の有害鳥獣の狩猟が可能となる区域に変更指定することを明記
・わな捕獲にICT技術の活用を推進するため、許可基準を緩和などの取り組みの実施により、有害鳥獣対策を強化していく。

農林水産常任委員会

問 磯焼け緊急対策事業は、どのような取り組みを予定しているのか。

答 水産総合研究センターが行っている調査事業などに加え、外房海域における漁業者による藻場のモニタリングや、食害生物の集中的駆除等を行うなど、海域特性に合った藻場回復手法の実証に取り組む予定である。

農林水産常任委員会

問 銚子連絡道路の早期整備に向けて、どのように取り組んでいくのか。

答 令和4年度、海匠土木事務所に銚子連絡道路建設課を新設し、体制を強化することとしている。
なお、供用に向けて工事の最盛期を迎える事業中間区間は、引き続き事業を推進していく。

また、令和4年度の事業化を目指す匝瑛市から旭市までの区間は、必要な調査等を十分に実施し、事業が円滑に進められるよう取り組んでいく。

農林水産常任委員会

問 文化財の登録制度の創設により、今後どのように保存活用を図っていくのか。

答 県内の文化財を幅広く把握するとともに、観光や地域振興等への活用を促し、関係部局と連携しながら、文化財の保存活用を図っていく。

農林水産常任委員会

問 磯焼け緊急対策事業は、どのような取り組みを予定しているのか。

答 水産総合研究センターが行っている調査事業などに加え、外房海域における漁業者による藻場のモニタリングや、食害生物の集中的駆除等を行うなど、海域特性に合った藻場回復手法の実証に取り組む予定である。

農林水産常任委員会

問 銚子連絡道路の早期整備に向けて、どのように取り組んでいくのか。

答 令和4年度、海匠土木事務所に銚子連絡道路建設課を新設し、体制を強化することとしている。
なお、供用に向けて工事の最盛期を迎える事業中間区間は、引き続き事業を推進していく。

また、令和4年度の事業化を目指す匝瑛市から旭市までの区間は、必要な調査等を十分に実施し、事業が円滑に進められるよう取り組んでいく。

令和3年度 千葉県議会 児童・生徒表彰受賞者(スポーツ部門)

学校(団体)名	氏名	備考
千葉県立東葛飾高等学校	吉木 翼	陸上
船橋市立船橋高等学校	上田 悠太	体操
東京学館高等学校	芹田 未果子	体操
船橋市立船橋高等学校	久米 乃ノ華	スポーツライミング
佐倉市立井野小学校	黒嶋 ひなの	ダンス
ダンススタジオみやおか(矢野響大・黒嶋ひなの)		ダンス
B&G香取市小見川海洋クラブ(林和磨・岡野竜也)		カヌー
佐倉市カヌー協会(田中羽音・吉田虹)		カヌー
ダンススタジオみやおか(矢野響大・柴田莉奈)		ダンス
九十九里リトルリーグ		野球
秀明八千代水球クラブ		水球
志学館高等部(千葉真衣・小嶋実南季)		少林寺拳法
ダンススタジオみやおか(小西乙愛・木下将希)		ダンス
志学館高等部		少林寺拳法
木更津総合高等学校		柔道
千葉県立千葉東高等学校		登山
ダンススタジオみやおか(足立拓海・黒嶋ひなの)		ダンス
市川ジュニアバドミントンクラブ(美濃龍斗・坂本結翔)		バドミントン

令和3年度 千葉県議会 児童・生徒表彰受賞者(学芸部門)

学校(団体)名	氏名	備考
流山市立小山小学校	金森 双葉	そろばん
多古町立中村小学校	澁谷 奏多	絵画
流山市立西初石小学校	高嶋 優	そろばん
船橋市立三山東小学校	島田 侑芽	作文
国府台女子学院小学部	松波 怜奈	絵画
国府台女子学院小学部	松本 美春	作文
国府台女子学院小学部	杉野 愛梨	作文
船橋市立宮本小学校	森 水優	フルート
流山市立おおたかの森中学校	橋本 倅	そろばん
八街市立八街南中学校	中村 夢優	短歌
鎌ヶ谷市立第三中学校	原口 愛菜	書道
市川中学校	石黒 煌也	そろばん
袖ヶ浦市立昭和中学校	柳田 蓮	図書館調査学習
館山市立館山中学校	池田 希帆	書道
船橋市立葛飾中学校	砂原 奏	将棋
東京学館船橋高等学校	森迫 莉沙	ポスター
松戸市立松戸高等学校	鳥羽 寿光	声楽
千葉県立袖ヶ浦高等学校	荒木 百花	書道
千葉市立緑が丘中学校	杉本 いぶき	ピアノ
千葉県立磯辺高等学校	山木 望愛	書道
千葉県立佐倉東高等学校	知久 結衣子	ホームソーイング
習志野市立谷津小学校		合奏
柏市立酒井根東小学校		管楽合奏
柏市立酒井根中学校		吹奏楽
習志野市立第四中学校		管楽合奏
習志野市立第二中学校		マーチング
船橋市立法田中学校		マーチング
千葉県立千葉高等学校(蜂巢直暉・寛友輝)		金融経済クイズ
柏市立柏高等学校		吹奏楽
習志野市立習志野高等学校		吹奏楽
船橋市立峰台小学校		合奏
千葉県立仁戸名特別支援学校		ロボットプログラミング
船橋市立海神中学校		重唱
習志野市立第一中学校		重奏

令和4年6月定例県議会 会期および議事・委員会予定(素案)

月日	議事・委員会予定	開議時間
5月27日(金)	開会	午前10時
6月2日(木)	質疑並びに一般質問	//
3日(金)	//	//
6日(月)	//	//
7日(火)	//	//
8日(水)	//	//
9日(木)	//	//
13日(月)	常任委員会(健康福祉・文教)	//
14日(火)	// (総合企画企業・商工労働)	//
15日(水)	// (環境生活警察・県土整備)	//
16日(木)	// (総務防災・農林水産)	//
21日(火)	閉会	午後1時

*本案はおおむねの日程であり、招集日前の議会運営委員会で協議されます。
*傍聴される場合は、議会ホームページで最新の情報をご確認ください。

TV …テレビで生放送を予定しています。
PC …パソコン、スマートフォンなどでインターネット中継をご覧いただけます。

ちば県議会だより

一般質問

質問項目は、主な項目を掲載しています。その他の項目は、千葉県議会ホームページに掲載しています。

千葉県議会 質問項目 2月 検索

2月25日(金)



自民党 田中 幸太郎 議員 (市川市)

▼ 運転免許行政DX
▼ 教員が生き生きと働ける環境の整備
▼ 海洋振興
▼ 行財政改革



公明党 秋林 貴史 議員 (松戸市)

▼ 新型コロナウイルス感染症対策
▼ 県営住宅
▼ 再犯防止支援の強化
▼ 運転免許証交付の利便性向上



自民党 三沢 智 議員 (館山市)

▼ 新規就農者の支援
▼ 海岸漂着物対策
▼ 道路問題
▼ 公共事業の施工時期の平準化



立千民 野田 剛彦 議員 (船橋市)

▼ アンコンシヤス・バイアス
▼ 孤独・孤立
▼ 船橋市内の防犯
▼ 船橋市内の道路整備

2月28日(月)



無所属 市原 淳 議員 (茂原市)

▼ 医療過疎地域の救急医療
▼ 河川
▼ ご当地ナンバー
▼ 産業用地



立千民 入江 晶子 議員 (佐倉市・印旛郡酒々井町)

▼ 循環器病対策ロジックモデル
▼ 県立高校「校内居場所カフェ」
▼ 酒々井町における産業誘致
▼ 県立博物館・美術館について



自民党 鈴木 ひろ子 議員 (船橋市)

▼ 児童虐待
▼ 通学路の安全対策
▼ 船橋日大前駅前の防犯ボックス
▼ 廃止後の警察の対応
▼ 多頭飼育崩壊



共産党 山本 由美 議員 (松戸市)

▼ コロナ対策(検査、保健所増設)
▼ 米軍オスプレイの飛行中止要求
▼ 命暮らし優先へ予算組替え提案
▼ 痴漢対策・ジェンダー平等条例



自民党 滝田 敏幸 議員 (印西市・印旛郡栄町)

▼ 鉄道問題
▼ 児童虐待防止対策
▼ AED
▼ 千葉県循環器病対策推進計画

3月1日(火)



無所属 川井 友則 議員 (松戸市)

▼ 中小企業の支援策
▼ 銚子市沖上風力発電の周辺地域の活用
▼ 児童相談所
▼ オリピック・パラリンピックのレガシーの活用



自民党 実川 隆 議員 (山武市・山武郡)

▼ DXの推進
▼ 成田空港
▼ 新生成田市場
▼ 道路問題



立千民 網中 肇 議員 (千葉市中央区)

▼ 新型コロナウイルス対策の充実・強化
▼ 災害・防災対策の充実・強化
▼ 特別支援教育の充実と研修充実
▼ 通学路等の交通事故対策の強化



自民党 石倉 登 議員 (千葉市花見川区)

▼ 隣接都県等との広域連携
▼ 花見川
▼ 特別支援学校
▼ 太陽光発電設備の普及



自民党 秋本 享志 議員 (白井市)

▼ 道路問題
▼ 梨の生産振興
▼ 災害ボランティアセンターの運営
▼ 新しい千葉の食文化創生事業

3月2日(水)



自民党 斎藤 守 議員 (船橋市)

▼ 新型コロナウイルス感染症
▼ 教育問題
▼ 防犯ボックス
▼ 道路問題



自民党 宮坂 奈緒 議員 (浦安市)

▼ デジタルの情報格差支援等
▼ 県有施設等のWiFi環境
▼ 道路整備
▼ 浦安市第1期埋立護岸



自民党 山本 義一 議員 (八街市)

▼ 新型コロナウイルス対策
▼ 飲酒運転根絶
▼ 生活道路の交通安全対策
▼ 農林業問題



自民党 吉本 充 議員 (富津市)

▼ 心理的ケアが必要な子供への支援
▼ 県立中学を県南へ、高校受験改革
▼ 鋸山日本遺産認定への支援
▼ スマート水産産業推進と青混せ海苔



2月定例県議会 知事あいさつ

◎新型コロナウイルス感染症

本県の1日当たりの新規感染者数は昨日までの1週間平均で4,722人となっており、依然として高い水準で感染が拡大しています。また、病床使用率が上昇し、酸素投与が必要な人や重症者も増加するなど、医療提供体制への負荷が高まっています。

県としては、こうした状況を踏まえ、まん延防止等重点措置の延長を国に要請し、3月6日までの延長が決定されたところです。県民や県内事業者の皆さまにはご負担をおかけしますが、引き続きご協力をお願い致します。

12月からの感染拡大を受けて、県では、医療提供体制の強化等に取り組んでまいりました。まず、病床については、先月27日にフェーズ2Bに移行し、現在、病床1,673床を確保しています。また、臨時医療施設については、千葉市稲毛区の施設で業務を開始した他、流山市においても56床を確保し、明日から業務を開始する予定です。

自宅療養者の支援については、SMSを活用した迅速な情報提供、電話やチャットによる相談窓口の設置、パルスオキシメーター計9万5千台の確保など、対策を強化するとともに、自宅療養中の妊婦に対し、医療機関によるモニタリングや迅速な入院調整など、容体急変に対応できる体制を構築しています。

この他、3回目のワクチン接種を促進するため、県による集団接種会場を昨日開設したところです。

県としては、引き続き必要な人に必要な医療や支援が提供できるよう、全力で取り組んでまいります。

◎新たな総合計画および行財政改革計画

総合計画については、昨年11月に原案を公表し、県議会の皆さまをはじめ、県民や有識者、市町村から幅広くご意見をいただいたところです。

このたび、いただいた意見を踏まえ、具体的な事業や指標を盛り込み、計画案として今議会に提案致しました。

計画案については、今後の社会環境の変化等に対応し、県民の命と暮らしを守るとともに、恵まれた自然環境や優れた都市機能を持つ千葉で、全ての県民が生きていく価値、働く価値を感じられる「千葉の未来」を創造していくとの思いを込め、名称を「千葉県総合計画 ～新しい千葉の時代を切り開く～」としたところです。

新しい総合計画の下、将来の千葉県づくりの方向性を県民の皆さまと共有しながら、県議会の皆さまとともに千葉県の総力を結集し、基本理念として掲げた「まち」「海」「緑」「ひと」がきらめく千葉の実現を目指してまいります。



また、総合計画に掲げる施策の着実な推進を行財政面から下支えするため、行財政改革計画についても、個別の取り組み事項や具体的な目標などを記載した行動計画・個票を作成し、計画案として取りまとめました。

基本理念である「時代の変化に対応した県民視点の県政を実現」するため、全職員が経営的な感覚を持ちつつ、柔軟で機動的な行政経営の実現や持続可能な財政構造の確立、多様で柔軟な働き方の推進、行政手続・サービスのデジタル化などの取り組みを推進してまいります。

◎令和4年度当初予算案他

このたび提案致しました案件は、令和4年度当初予算案、令和3年度2月補正予算案、各種条例案およびその他附帯議案の92議案の他、報告1件です。

令和4年度当初予算は、まずは県民の命と暮らしを守ることを最優先とし、引き続き新型コロナウイルス感染症対策に万全を期するとともに、防災減災対策や交通安全対策を加速してまいります。

その上で、新たな総合計画に掲げた施策を推進するため、「県内経済の活性化や農林水産業の振興」「道路ネットワークなどの社会資本の整備促進」「子育て・教育施策の充実」「文化・スポーツの振興」など、幅広い分野にわたり、豊かな県民生活の実現に向けた事業を計上しています。

さらに、令和3年度2月補正予算と一体的に編成することで、これらの取り組みを切れ目なく進めてまいります。

この結果、一般会計の予算規模は、2兆1,772億6,500万円となりました。

この他、総合計画および行財政改革計画の策定について報告がありました。知事あいさつの全文は、県ホームページでご覧いただけます。

千葉県議会 知事あいさつ 検索

千葉県議会公式 ツイッター・フェイスブック 開設しました!

県議会の情報を随時配信していますので、ちば県議会だよりと合わせて、ぜひご覧ください。

【ツイッター】 https://twitter.com/chibakengikai

【フェイスブック】 https://www.facebook.com/chibakengikai



予算委員会が開催されました



3月4日(金)、7日(月)、8日(火)の3日間にわたり予算委員会が開催されました。

本委員会では、令和4年度予算議案について、横断的・多角的に審査が行われ、活発な議論が展開されました。